中央図書館

## 全市立図書館

		評価指標 平成22年度 平成23年度 平成24年度 対前年度比			図書館運営全体					
区 図書館運営	基本的サービス(地区図書室分を含む)							自己評価		外部評価(%は外部評価者の割合)
	資料購入費:決算数値(千円)	172,017	169,752	206,457	21.6%増			音を効率よく利用できている。 う,広報活動や事業を行っていく。	4 + <del>*</del> = 7 / 7	・巻・亀田の健闘を期待する。 ・巻・亀田の開館で今まで利用しにくかった人たちが利用しやす くなった。
	蔵書冊数(点)	1,741,066	1,815,645	1,842,478	1.5%增	• <b>亀田図書館</b> ,	巻図書		1 大変評価する。 64%	・各図書館で個性を持っていてよい。 ・時流に乗った質的充実を進めてほしい。
	貸出冊数(点)	4,644,259	4,673,975	4,723,162	0.9%増	・宝体の風音冊 ライン化で各館	一致は の蔵		<ol> <li>2 ある程度評価する。</li> <li>36%</li> </ol>	・ 亀田・ 巻など新しい図書館は特にPRが大切と思われる。 ・ 亀田図書館は、入館者は増えても年配者の利用が減っている のではないかと思われる。
	登録者数(人)	160,051	158,542	155,642	1.8%減				3 評価できない。 0%	07 C16-60 -18 C18-17-10-00
	(内新規登録者数)	19,109	16,884	17,666	4.6%增	ı	1			
区分		平成22年度	平成23年度	H24目標値	理由			4	評価(次年度への展開)	
施策・事業(オンライン各館)	課題解決型図書館							自己評価	自己評価 外部評価(%は外部評価者の割合)	
	レファレンス件数(件)	7,423	8,128	8,500 新・総合計画		8,506		・レファレンス件数は前年度より4.7%増加し目標を達成するこ ができた。	  1 大変評価する。   40%	
	個人予約件数(件)	575,536	643,008	545,200	教育ビジョン	675,543		予約件数は増加しており、オンライン利用が浸透して利便性が iまっている。 2 ある	   2 ある程度評価する。   60%	・中央図書館以外の図書館の方が利用者(地域住民)と職員の 距離が近いのでレファレンスが増加するのではないか。 ・インターネット環境を充実させてサービスの実施範囲を広げて
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)		中央図書館の数値				1	。 ホームページアクセス件数は, 中央図書館シートをご覧くださ 3 評価できない。	3 評価できない。	「もんだ」によって、「これの美地配面を広げて ほしい。
	ホームページアクセス件数(件) 中央図書館の数値					1	0%			
	分権型図書館							自己評価		外部評価(%は外部評価者の割合)
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	90,845	97,236	97,300	前年度並み	101,480	4	・各区の特色を生かした地域資料の収集に努め、郷土・行政資料の蔵書冊数が4.3%増加した。	1 大変評価する。 82% 2 ある程度評価する。	・期待している。 ・重要な分野なので一層充実させてほしい。 ・各図書館の地域性に合わせた収集を更に充実させてほしい。 ・常設の展示スペースが、目につき易い場所で良い。 ・市内各館との相互で展示を行えると良いと思った。 ・どんな資料が集められているか、もっと市民にPRしてほしい。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	35,788	37,225	37,200	前年度並み	38,192		・特別コレクション室やコーナーなどで、テーマ展示を行うなど、郷土資料の紹介に努め、貸出冊数2.7%増加し、利用の拡大につながった。	1006	
								自己評価		 外部評価(%は外部評価者の割合)
	児童書の貸出冊数(冊)	1,077,221	1,099,729	1,181,000	教育ビジョン	1,099,169	2			・学校図書館の環境整備に力を入れているのは良いことである。
	小中学生への貸出冊数(冊)	464,901	464,250	514,000	教育ビジョン	499,785	2	・児童書, 小中学生への貸出冊数は減少傾向にあるが, 各学校 図書館支援センターが学校図書館の環境整備に力を注いでいる。	1 大変評価する。 50%	・子どもが本に触れ合うための施策はとてもたいせつなので今後も力を入れてほしい。 ・集客よりも教育の充実に繋がるイベントがより大切ではない
	子ども・親子対象事業の参加者数(人)	19,977	19,360	19,600	教育ビジョン	14,665	1	・集客力のあるイベントの回数が少なかっため、子ども・親子対象事業の参加者数は減少した。	2 ある程度評価する。 50%	か。 ・小学生が本を借りたくなるような企画を検討してほしい。 ・子どもの数が減っているなど目標値の設定を再考された方が
	職場体験受入人数(人)	250	207	250	組織目標	205	2	・職場体験はできる限り受け入れるようにした。 ・関係機関と連携を図り、職員の派遣に努めた。	3 評価できない。 0%	よいのではないか。 ・子どもを連れてくる若い両親への働きかけが必要である。 ・多文化な取組などがあっても良いのではないか。 ・学校司書への配慮や対策をお願いしたいことと,先生にも子どもの読書の大切さを知ってほしい。
	講師等としての派遣職員数(人)	296	297	290	組織目標	344	4			
	パートナーシップ型図書館							自己評価		外部評価(%は外部評価者の割合)
	図書館事業のボランティア活動者数(延人数)	_	3,232	3,300	前年度並み	3,996		・ボランティア活動者数は目標を大きく伸びたが、ボランティア同士の横のつながりの強化までは至っていない。	  1 大変評価する。   82%	
	ボランティア団体交流会参加者数(人)	91	118	120	前年度並み	76	1	<ul><li>利用者懇談会は開催できなかったが、中央図書館で利用者満足度調査を実施して利用者の要望等の把握に努めた。</li></ul>	・ボランティアの交流会を数回, 図書館, 区毎, 全市とやっては 2 ある程度評価する。 18% ・共催事業の目標値は妥当か。 ・共催事業が減っった理由の詳細が必要である。 ・ボランティアの皆さんには, 頑張っていただきたい。	
	利用者懇談会の開催回数(回)	1	3	3	前年度並み	0	1	・共催事業回数は、中央図書館は増加したが図書館全体としては昨年に比べ大幅に減少した。(実施形態を共催→ボランティア協力に変更したことにより共催回数が減少した館もあった。)引		・共催事業が減つった理由の詳細が必要である。
	共催事業の実施回数(回)	79	170	170	組織目標	73		き続き様々な形で市民協働を行っていく。	0%	
	運営(職員)							自己評価		外部評価(%は外部評価者の割合)
	研修参加職員数(延人数)	_	665	600	組織目標	537	4	・職員数が減少した図書館もあり、業務の効率化を図って必要な研修に絞って実施したため、目標には及ばなかった。今後もそれぞれの職員に必要な業務能力を伸ばすため、研修の実施に努める。	<ul><li>1 大変評価する。 10%</li><li>2 ある程度評価する。 90%</li><li>3 評価できない。 0%</li></ul>	・理解はできる。

<sup>※</sup>施策・事業の評点は1:目標値を大きく下回った 2:目標値を少し下回った 3:目標どおり達成 4:目標値を上回って達成 ※教育ビジョン:市教育委員会が策定した指針, 新・総合計画:市の目指す都市像に向けた行政計画, 組織目標:市が実施している組織ごとの行政評価